

# 「子ども虐待へのケアを 草の根で広げよう」

- 日時：2011年1月16日(日)  
13:30～16:30 (受付開始13:00)
- 会場：西南コミュニティセンター

子ども虐待ケアの第一人者  
であり、草の根ケアの提唱者  
**杉山登志郎先生**  
をお招きします。

2009年度、全国の虐待相談件数は4万4千210人。

福岡市でもその数は増え続けています。

子どもたちのために、私たちひとりひとりに何ができるのかを考え、  
草の根の一步を踏み出すために、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

## プログラム

### ミニ講演

- 「SOS子どもの村って何？」西南学院大学 山本裕子
- 「子どもの村福岡のいま」子どもの村村長 古賀信徹
- 「子どもの村福岡と里親会」福岡市里親会会長 木村康三

### 基調講演

「子ども虐待へのケアを草の根で広げよう」

講師：杉山登志郎

(浜松医科大学児童青年期精神医学講座)

- 定員：200名
- 参加費：500円(資料代)
- 託児：子ども1人につき500円

■主催：特定非営利活動法人子どもの村福岡 ■後援：福岡市・福岡市教育委員会・福岡県・福岡県教育委員会 (申請中)



特定非営利活動法人

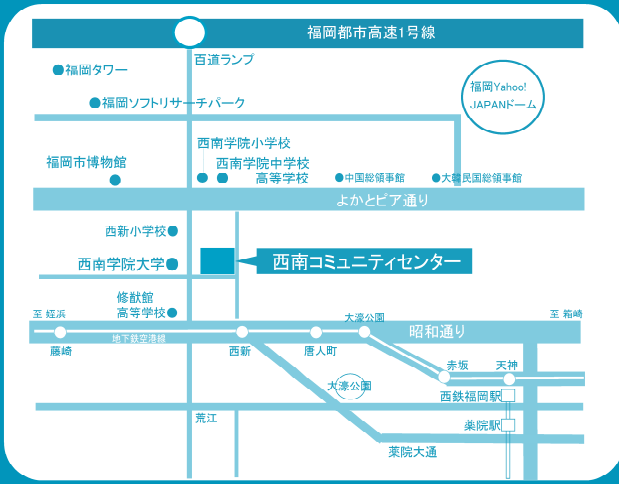
# 子どもの村福岡

「子どもの村」は、親の病気や貧困、虐待や育児放棄など様々な理由で家族と暮らせない子どもたちのために、新しい家庭をつくり、地域とともに育てていきます。2010年4月に福岡市西区今津に誕生し、子どもたちの新しい生活が始まっています。

●講師プロフィール

杉山 登志郎(すぎやま としろう)

久留米大学医学部卒業後、静岡県立病院養心荘、愛知県心身障害者コロニー中央病院精神科医長を務め、カリフォルニア大学ロサンゼルス校神経精神医学研究所に留学。日本における高機能自閉症やアスペルガー症候群の権威の一人であるが、2001年より、あいち小児保健医療総合センター心療科部長に就任、被虐待児のケアにおいて先進的取り組みを続ける。2010年10月より浜松医科大学教授に就任。



●子どもの村福岡は、日本で初めてのSOS子どもの村です。



SOS子どもの村は、「すべての子どもに愛ある家庭を」をスローガンとして、1949年第2次世界大戦後のオーストリアで始まりました。戦争で親を失った子どもたちのための活動は、その後、戦争や災害、エイズなど各国の状況を背景に世界133ヶ国に広がりました。現在、子どもの権利尊重を核として、様々な活動を展開する子どもに関する世界最大のNGOです。

◆ 会場  
西南コミュニティセンター  
福岡市早良区西新6-2-92  
Tel.092-823-3952

- ◆ 地下鉄 西新駅下車徒歩5分
- ◆ 西鉄バス 修猷館前下車徒歩5分

お問合せ、お申込みは

(特)子どもの村福岡 事務局 〒810-0054 福岡市中央区今川2-14-3  
Tel.092-737-8655 Fax.092-737-8665 E-mail.fukuoka@cv-f.org  
先着順、定員になり次第締め切り

子どもの村福岡公開フォーラム 参加申込書

FAX : 092-737-8665

フリガナ			
氏名			
連絡先	住所 〒		
	<input type="checkbox"/> 自宅		
	<input type="checkbox"/> 職場	TEL	FAX
	E-mail		
所属			
託児	<input type="checkbox"/> 希望します	子どもの年齢・性別	_____ 歳(男・女)
			_____ 歳(男・女)
			_____ 歳(男・女)